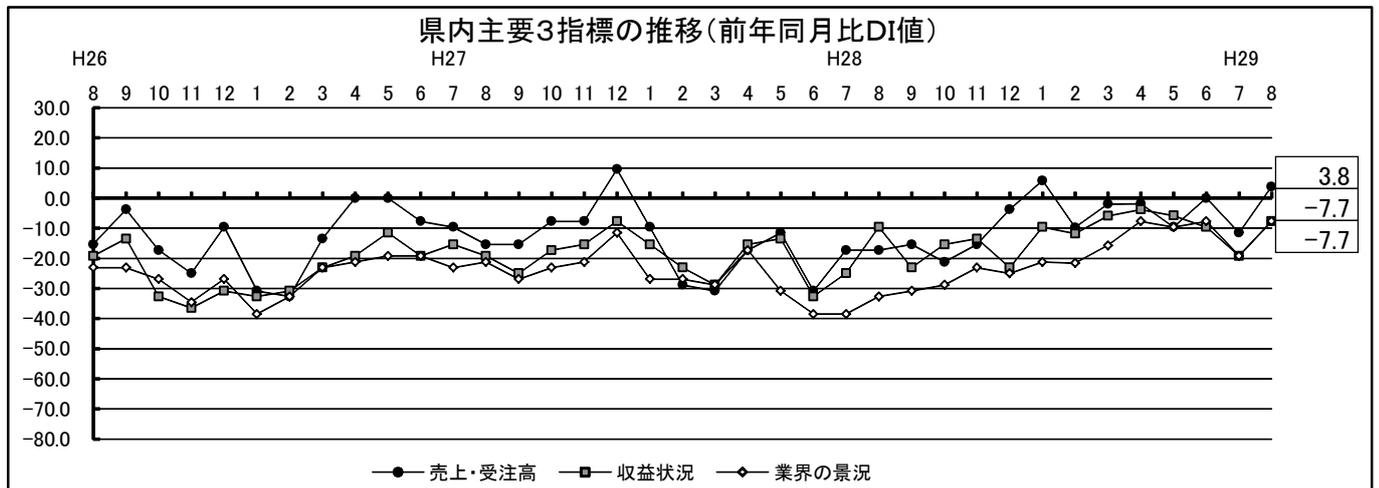


中小企業団体情報連絡員報告結果(平成29年8月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員（中小企業組合（協同組合、商工組合等）の役職員52名に委嘱）による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 8月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べて、9指標中「売上高」「収益状況」「資金繰り」「設備操業度」「雇用人員」「業界の景況」の6指標が上昇した。
- 主要3指標は、「売上高」が前月より15.3ポイント上昇の3.8ポイント、「収益状況」が11.5ポイント上昇の-7.7ポイント、「業界の景況」が11.5ポイント上昇の-7.7ポイントであった。
- 主要3指標すべてで前月比でプラスに転じるなど、多くの指標の数値が前月比で改善もしくは同水準を維持している。一方で、「在庫数量」が改善しない、「設備操業度」が不安定などの懸念材料も存在し、先行きは依然不透明である。



主要3項目	県内		全国	
	DI値	前月比	DI値	前月比
売上・受注高	3.8	+15.3	-12.0	-2.0
収益状況	-7.7	+11.5	-16.8	-1.2
業界の景況	-7.7	+11.5	-16.7	1.2

売上・受注高

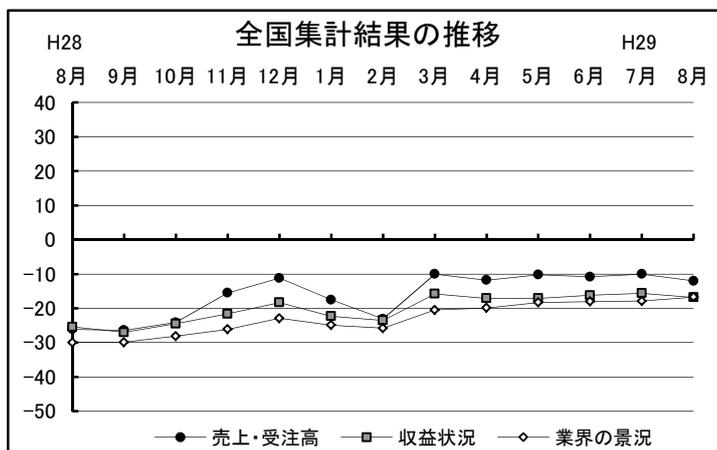
当月の県内売上・受注高DI値は、前月より15.3ポイント上昇の3.8ポイントとなった。全国においては、前月より2.0ポイント下降の-12.0ポイントとなった。

収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月より11.5ポイント上昇の-7.7ポイントとなった。全国においては、前月より1.2ポイント下降の-16.8ポイントとなった。

業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月より11.5ポイント上昇の-7.7ポイントとなった。全国においては、前月より1.2ポイント上昇の-16.7ポイントとなった。



-概 況-

8月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べて、9指標中「売上」「収益」「資金」「設備」「雇用」「景況」が改善し、「在庫」「価格」の2指標が悪化した。主要3指標は、「売上」が前月より15.3ポイント上昇の3.8ポイント、「収益」が11.5ポイント上昇の-7.7ポイント、「景況」が前月より11.5ポイント上昇の-7.7ポイントであった。前月はマイナスの値を示すものが多かったものの、当月の調査では若干ではあるが、回復の傾向を示す結果となった。

業種別の状況を見ると、図表4のとおり、「売上」は製造業で7業種中3業種が上昇、2業種が下降し、非製造業で6業種中4業種が上昇した。「収益」は製造業で3業種が上昇、3業種が下降し、非製造業で3業種が上昇した。「景況」は製造業で2業種が上昇、3業種が下降し、非製造業では5業種が上昇した。

景気の回復・企業業績拡大への期待感はあるが、北朝鮮情勢などの地政学リスク、トランプ政権の政策の行き詰りのリスクへの警戒感が強く、依然として軟調な展開が続くと思われる。

図表1～【業種別・指標別動向一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	×	○	△	△	△	△	△	△	△
繊維・同製品	△	△	×	△	△	△	×	△	△
木材・木製品	×	×	△	△	×	△	△	△	×
印刷	△	△	△	△	△	△	△	△	△
窯業・土石	×	△	△	△	△	△	△	△	△
鉄鋼・金属	△	△	△	△	△	△	△	△	△
一般機器	△	△	△	△	△	△	△	△	△
卸売業	△	△	△	△	△	△	—	△	△
小売業	△	△	△	△	△	△	—	△	△
サービス業	○	—	△	△	△	△	—	○	△
建設業	○	—	△	△	△	△	—	△	△
運輸業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
その他	△	—	○	△	△	△	—	△	○

図表2～【業種別・指標別DI値一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況	
食料品製造	-50.0	50.0	0.0	0.0	-25.0	-25.0	-25.0	0.0	-25.0	
繊維・同製品	0.0	25.0	-50.0	0.0	-25.0	-25.0	-50.0	0.0	-25.0	
木材・木製品	-100.0	-50.0	-25.0	0.0	-75.0	-25.0	-25.0	-25.0	-75.0	
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
窯業・土石	-50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	
鉄鋼・金属	25.0	-25.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	
一般機器	0.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
製造業	-28.0	-4.0	-8.0	0.0	-24.0	-12.0	-12.0	-4.0	-24.0	
卸売業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	33.3	
小売業	14.3	0.0	28.6	-14.3	-14.3	-14.3		14.3	-28.6	
サービス業	83.3		0.0	0.0	16.7	16.7		50.0	16.7	
建設業	40.0		0.0	0.0	20.0	0.0		0.0	0.0	
運輸業	25.0		0.0	0.0	25.0	0.0		0.0	25.0	
その他	0.0		50.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	50.0
非製造業	33.3		-10.0	11.1	-3.7	7.4		0.0	14.8	7.4
全体	3.8	-2.9	1.9	-1.9	-7.7	-5.8	-12.0	5.8	-7.7	

図表3～【指標別DI値の推移】

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	前月比
売上高	-17.3	-15.4	-21.2	-15.4	-3.8	5.8	-9.8	-2.0	-1.9	-9.6	0.0	-11.5	3.8	15.3
在庫数量	-22.9	-31.4	-28.6	-14.3	-22.9	-14.3	-23.5	-23.5	0.0	-8.6	-14.3	2.9	-2.9	-5.7
販売価格	1.9	1.9	1.9	1.9	0.0	3.8	3.9	5.9	1.9	5.8	3.8	3.8	1.9	-1.9
取引条件	-7.7	-9.6	-1.9	-5.8	-3.8	-1.9	-2.0	-3.9	0.0	-1.9	0.0	-1.9	-1.9	0.0
収益状況	-9.6	-23.1	-15.4	-13.5	-23.1	-9.6	-11.8	-5.9	-3.8	-5.8	-9.6	-19.2	-7.7	11.5
資金繰り	-5.8	-7.7	-9.6	-5.8	-5.8	-3.8	-5.9	-5.9	1.9	0.0	-3.8	-7.7	-5.8	1.9
設備操業度	-16.0	-16.0	-8.0	-4.0	-8.0	-8.0	0.0	12.5	-4.0	8.0	-4.0	-16.0	-12.0	4.0
雇用人員	0.0	0.0	0.0	-5.8	-3.8	-3.8	-5.9	2.0	-3.8	1.9	-1.9	3.8	5.8	1.9
業界の景況	-32.7	-30.8	-28.8	-23.1	-25.0	-21.2	-21.6	-15.7	-7.7	-9.6	-7.7	-19.2	-7.7	11.5

図表4～【前月DI値差】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	25.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0
繊維・同製品	75.0	25.0	-25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
木材・木製品	-75.0	-100.0	0.0	0.0	-50.0	-50.0	-25.0	0.0	-50.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	-75.0	25.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0
鉄鋼・金属	75.0	-50.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	-25.0
一般機器	0.0	-25.0	0.0	0.0	50.0	25.0	50.0	0.0	50.0
製造業	4.0	-12.0	-8.0	0.0	0.0	-4.0	4.0	0.0	-4.0
卸売業	0.0	0.0	0.0	-33.3	0.0	0.0		0.0	33.3
小売業	28.6	14.3	14.3	14.3	28.6	14.3		14.3	14.3
サービス業	16.7		0.0	0.0	0.0	0.0		16.7	0.0
建設業	20.0		0.0	0.0	20.0	0.0		-20.0	20.0
運輸業	75.0		0.0	0.0	75.0	25.0		0.0	75.0
その他	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	50.0
非製造業	25.9	0.0	3.7	0.0	22.2	7.4		3.7	25.9
全体	15.3	-5.7	-1.9	0.0	11.5	1.9	4.0	1.9	11.5

特記事項

情報連絡員報告（平成29年8月分）

所属組合	特記事項
和洋菓子製造業	8月は天候が不順で売り上げが心配されたが、業界としてはお盆など需要が大きい月でもあり例年並みとなった。しかし、今後原材料の価格の上昇が心配である。
酒類製造業	普通酒よりも特定名称酒の売上高が伸びているので、利益幅が増えたようだが、その分設備投資に資金を使い、収益状況はトントンというところのようだ。
外衣・シャツ製造業	売り上げ、在庫ともに不変であり、底値での安定感がある。底値の現況をどう克服するかが問われている。
網・網・レース・繊維粗製品製造業	本格的な夏の前の動きは若干鈍い程度だったが、夏の冷夏による多方面での消費の冷え込みがこれからより一層響いてくると予想している経営者が多い。そんな中、新シーズンに向けては、相変わらず変わった素材への要望が多いと感じている。
一般製材業	8月はお盆休みもあり例年加工量は少ない方であるが、今年は前年と比べても少ない結果となった。各組合員の話でも、中小工務店の受注見通しがいつもより悪いようであるとのことだった。
建具製造業	組合員各社ともに、受注減、売上の低迷に苦しむ夏となった。
木材・木製品製造業	材料の値上げが進むが、販売価格は上がりにくい。在庫も安定してきた為、販売量も下がってきている。収益が圧迫されている。
印刷業	ニーズの変化、需要の停滞、過当競争、低価格など厳しい経営環境に変わりはない。
石灰製造業	6月より若干値上することが出来ているので販売価格は上昇している。
金属製品製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車部品関連…スバル下請は相変わらず順調である。人手不足の状況が続いている。 ・機械設備関連…半導体設備、電子部品設備等の受注が増加傾向である。ただし、業種によりばらつきがある。 ・プレス金型関連…自動車部品関連受注が順調である。
金属製品製造業	自動車関係で得意先が1社増えた分、売上高が増加した。
一般機械器具製造業	景気動向がバラバラで判断が難しい状況である。要は、顧客が業界内でどの位置にあるのかで、我々下請けの状況が分かれていることが分かる。
一般機械器具製造業	本月の報告は、前年同月と比較し、全般的に不変という報告を受けている。しかし、販売価格の上昇は見込めず、楽観視はできない状況である。

各種商品卸売業	全体的には前月の業況とさほど大きな変化はなかったが、8月の予想外の悪天候による影響について聞いてみると以下のような影響があった。 ・酒類卸業…ビール類は期待外れで全体的に悪かったが、比較的グレードの高い国産トニックウォーターやジン等（家飲み系）がこここのところ好調である。 ・肥料卸業…8月の日照不足や局地的な大雨の影響で野菜の生育が遅れたことによって、肥料の需要が増えてきた。
食肉小売業	商品全体的には動きは良いが、仕入価格の上昇とアメリカ冷凍牛にセーフガード（SG）がかかり高騰している。
各種商品小売業	8月は天候の不順により決して良い月ではなかったと思われる。大型店も同じと聞いている。
各種商品小売業	全体として前年比約1割増の売上を計上することができたが、今年が特別良かった訳ではなく、前年同時期が低迷していたためである。一昨年ベースで見るとほぼ横ばいであり、今後も生き残っていくにはいかにコストを見直していくか、ムダを省いていくかが重要になってくる。
花・植木小売業	7月までの猛暑の影響などから全体的に品薄で、お盆前には菊類を中心に驚くような高値相場となった。お盆商戦は期間を通してよく売れたが、この時期は花の持ちが悪いため小売の動きは鈍い。プライダルはオフシーズン、葬儀も例年に比べ少なかった。8月の日照不足の影響から、今後、秋の彼岸やプライダルシーズンで花の需要が増えていく中、入荷量と品質が不安定になりそうなので、産地や市場としっかりと情報を共有しながら仕入を考えていきたい。
理容業	夏期という时期的な関係で、来客数は前月と比較すると、増加した。それに伴い、収益も増加している。
自動車整備業	雇用人員1名増であるが、それが売上増に繋がっていない状況である。
ビルメンテナンス業	ビルメンテナンス、廃棄物収集運搬等の現場職員を募集しても若い人がほとんど応募してこない状況にある。
給食センター	新規の得意先等の弁当食数増があった為、売上高は前年同月比で増加となった。新調理法で製造のシニア向け弁当の拡販等・コストダウンにより、収益は改善されていくと思われる。
旅館・ホテル	8月の業況は、長雨の影響で客足が鈍かった。特に前半が著しく、お盆休みも15日、16日にかけては埋まらなかった宿もあった。それでも後半は持ち直し、結果的には微増となった。
旅館・ホテル	宿泊の客室稼働率に関してはここ数年のトレンドのまま全体的に上昇している。レストラン・宴会・婚礼など飲食に関する部門では多様化しており、ホテル利用が全てではなくなってきている。天候が歴史的に悪く、屋外での飲食営業ができなかった。
内装工事業	栃木県室内装飾事業協同組合の防災ラベル支給枚数からみると、前年同月比カーテン用ラベルは18%減、敷物用ラベルは526%増、壁装用ラベルは63%減であった。4月～8月累計では、前年同月比カーテン用ラベル134%増、敷物用ラベル30%増、壁装用ラベル13%増であった。8月はカーテン・壁装用ラベルは減少したが、敷物用ラベルは好調であった。4月～8月累計では、カーテン・敷物・壁装用ラベルは好調であった。4月～8月ラベル支給（売上）金額については44%増であった。
一般貨物自動車運送業	常態化した運転手不足、労働時間の遵守、車両制限令違反への罰則強化など問題が山積みである。
貨物軽自動車運送業	8月は各企業の夏季休業のため稼働日数は少なかったが、食品や飲料水、自動車部品建設関連貨物が堅調に推移し好転した。景況感は一進一退となっている。人手（ドライバー）不足が慢性化している。
一般乗用旅客自動車運送業	売上等は前年同月比であまり変化はないが、宇都宮市街地の人通りが若干増えているように思う。特にオリオン通り等は深夜遅くまで賑わいが散見される。
大谷石採石業	昨年同月も通常の年より貼石関係は約1割程多く、本年8月も昨年並に推移した。今の時期2年連続で約1割の増量が一過性の需要であるか否か見極めが難しく、対応に躊躇しているとのことである。積石関係は、1割弱の需要であるが減少している。